

## 平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

コース名	③女性対象コース		
事業名	女性の再就職を支援するIT・経理スキルアップ講座		
法人名	学校法人コア学園		
学校名	飯田ゆめみらいICTカレッジ		
代表者	楨原 英勝	担当者 連絡先	事務長 橋本 勝行 Tel 0265-22-5111
1. 事業の目的			
<p>育児休業法等の充実により、社会における女性労働者の勤務条件は制度上大変整備されてきた。しかし、企業実態としては、まだまだ育児休業の取得実績は高い水準とは言えず、出産を期に退職されるケースが多く見受けられるのが現状である。一旦就業を中断した女性が、復帰するにあたっては、日々進歩しているIT技術に対し、「過去の経験をどの程度活かすことができるか」「資格もキャリアも少ない自分が再就職できるのか」といった不安や悩みも多く抱えている。本講座では、これらの自己スキルや働く上での環境について不安をカウンセリングし、新たなキャリアビジョン作成を支援する。その上で、事務系職種のベースとなっているICTスキルと最新のアプリケーション（ワード・エクセル）の習得を共通科目として資格取得を目指す。さらにフルタイム勤務用のコース（簿記コース）と時間限定的な勤務用のコース（医療・介護事務）を本人が選択できるようカリキュラムを構成する。このことにより、企業からのさまざまな需要に対し、幅広く対応できる人材育成を行い地元地域の活性化に貢献する。</p> <p>開講時間を平日の9時から15時までとすることにより、家事や保育園等の送迎に極力支障が生ずることのないよう出来る限りの配慮を行う。また必要に応じて、保育士・幼稚園教諭有資格者を配置し、当校空き部屋を利用して講座の時間帯のみ託児することも考慮していく。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）			
<p>子育て等により一旦就業を中断した女性が、再就職にあたり抱えている悩みや不安をカウンセリングにより解消し、新たなキャリアビジョンの作成を支援。</p> <p>知識の習得においては、幅広い分野で活用できるようICTスキルと最新のアプリケーションの修得を共通科目とし、更に選択科目として簿記コースと医療事務コースを設け、フルタイム勤務または時間限定勤務いずれの労働条件にも対応できるようカリキュラムを構成した。</p> <p>●開設講座数 : 1講座 ●総授業時間数 : 216時間</p>			

●開設期間 : 10月5日～11月27日

(内訳)

<基礎スキル>

- ・パソコン基礎 1時間
- ・Word基礎 10時間
- ・Excel基礎 10時間

<検定対策>

- ・MCAS Word 24時間
- ・MCAS Excel 24時間

<選択科目>

- ・日商簿記3級の取得対策 68時間
- ・医療事務資格の取得 75時間

<就職支援講座>

- ・履歴書、職務経歴書の作成
  - ・再就職の心得
  - ・再就職相談
- } 4時間

上記の他、1週間程度の地元企業での職場実習の機会を設けた。

また、空き教室を利用し臨時の託児所を開設。育児のため勉強の機会をあきらめていた若いお母さん方の便宜を図った。

### ②受講者の募集方法 (手法・期間・効果)

受講者募集に当たっては、主に下記の方法を用いて行った。

1. 新聞広告 (7月26日、8月1日、26日の3回掲載)
2. タウン誌への募集広告 (8月7日、21日、9月4日 発行分)
3. 地元ミニFM局のスポットCM (9月1日～9月20日の間、朝夕2回)
4. ハローワークへのチラシ設置 (9月1日～9月25日)
5. 飯田市広報(9月号)への掲載

応募状況は定員20人のところ、70人の応募があったため、書類審査を行ない、特に講座を受講する必要性の高い23人を受講対象者とした。

### ③受講者の状況

受講者23人の内訳は下記のとおりである。

・女性23人

・年齢層は 20代5人 / 30代13人 / 40代1人 / 50代4名

いずれも受講開始時点では定職に就いておらず、育児の真っ最中もしくはアルバイトなどで生活している方々であった。

ちなみに託児希望幼児は11名(男児5名 女児6名)で、内訳は下記のとおりである。

0歳児・・・ 2名 (男児0名 女児2名)

1歳児・・・ 3名 (男児2名 女児1名)

2歳児・・・ 2名 (男児1名 女児1名)

3歳児・・・ 4名 (男児2名 女児2名)

<p>④受講者の意識調査等</p>
<p>受講者満足度は下記のとおりであり、満足以上が96%という結果となった。      大変満足：8人（35%） 満足：14人（61%） 普通：1人（4%）      不満：0人（0%） 大変不満：0人（0%）</p>
<p>⑤受講後の状況（修了者数・就職率）</p>
<p>受講者23人中、全員の23人が規定の出席時間数（出席率80%以上）に達したため、修了証（として学校教育法に基づく履修証明制度の対象となる履修証明証）を交付した。修了者のすべてが就職希望者であるが、約半数が子育て中ですぐの就労（就活）が難しい状況。他の者は就職活動（含む職場実習）を行ない、2人が就職し、現在10人が活動中である。</p>
<p>3. 事業の評価に関する項目</p>
<p>①当初目的の達成状況</p>
<p>受講者満足度は96%であったが、講座就職者数は3月時点で2人という結果になった。昨今の厳しい就職状況、それに受講者の約半数が子育て真っ最中という状況を考えると、講座の目的はある程度達成できたものと考ええる。</p>
<p>②事業の成果及び改善点</p>
<p>主な成果は下記のとおり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 女性の再就労に対するICT技術の教育カリキュラムの完成</li> <li>2. 託児施設を併設した講座運営、子育て中でも安心して受講できる講座環境の提供</li> </ol> <p>ICT技術の教育プログラムの成果としては（資格取得状況は）、MCAS10名、簿記8名、医療事務5名の合格者を出すことが出来、今後就職につながっていくものと考えられる。また、受講中の託児については大変好評で、子どもにとっても大変良い経験になったとの評価をもらった。今後予定されている各種講座へも託児サービスが提供できるよう工夫していきたい。</p>
<p>③次年度以降における課題・展開</p>
<p>実施委員に加わっていただいた行政（市男女共同参画課）、NPO法人アイデアの各委員の方々と今後も連絡を取り合いながら、今回の成果をベースにさらに女性就労に貢献できるように人在育成に努めていく。具体的には、カリキュラムを研鑽し一般向け講座として実施していく。また自校の学生向けカリキュラムへも積極的に取り込んでいく。</p>

#### ④成果の普及

成果および受講者の感想を盛り込んだ報告書冊子をコア学園グループ校(11校)へ配布。また職業訓練講座(基金訓練等)へも今回の成果を活かした企画・提案・実践をしていく。